

2026年3月16日  
株式会社岩手銀行

## 農林水産省「農山漁村振興への貢献活動に係る取組証明書」の取得について

岩手銀行（頭取 岩山 徹）は、このたび県内一次産業の基盤強化を目的として推進してきた取組におきまして、農林水産省が創設した「農山漁村振興への貢献活動に係る取組証明書」を取得しましたので、お知らせいたします。

本証明書は、当行が岩手県滝沢市において2025年4月から2025年11月にかけて実施した実証を含む取組が、農山漁村振興への貢献活動として評価されたものです。

当行は地域金融機関として、今後も地域の関係者の皆さまと緊密に連携し、農業の持続的な発展と地域課題の解決に貢献してまいります。

### 記

#### 1. 農山漁村振興への貢献活動に係る取組証明書の概要

認定機関	農林水産省
制度名	令和7年度 農山漁村振興への貢献活動に係る取組証明書
制度内容	農山漁村の課題解決に向けた個々の取組が企業等によって行われていることを農林水産省が証明する制度

#### 2. 証明書を取得した取組

取組名	食とエネルギーの総合産地化プロジェクト
実施者	当行、NTT 東日本株式会社、株式会社 JDSC ※3社共同で取得

#### 3. 取組の背景・概要

- 岩手県の一次産業は地域に不可欠な基盤産業である一方、高齢化による従事者の減少や資材・燃料等のコスト上昇により、その持続性が脅かされています。当行は一次産業の生産性・収益力の強化および域内循環モデルの構築を目指し、2024年よりNTT 東日本株式会社および株式会社 JDSC と連携して、「食とエネルギーの総合産地化プロジェクト（[詳細はこちら](#)）」に取り組んでおります。
- 今般、岩手県滝沢市内の圃場をフィールドとし、稲作の収量安定化および作業効率化に資する示唆の獲得を目的に、センサー・水管理デバイス・ドローン等のスマート農業機器を活用したデータ取得・分析の実証に取組みました。実証から得られたデータの分析により、生育状況と収量、水温と収量の関係について一定の傾向を把握しました。さらに、複数年度にわたる実証を通じて、別圃場・別品種においても同様の

傾向が確認され、知見の汎用性（一般化可能性）が高まったと考えています。協力農家様からは、農作業の意思決定や負担軽減に有効であり、収量の安定につながる導入価値があるとの評価をいただいております。

(3) 今後は、実証で得られた知見および関係者との連携基盤を踏まえ、農業の効率化、高収益化に向けた地域実装を目指し、取組みを継続・推進してまいります。

以上



農林水産省取組証明



3月13日、農林水産省庁舎にて山本農林水産大臣政務官より取組証明書を頂戴しました

農山漁村振興への貢献活動に係る取組証明書の詳細は以下 URL を参照ください。

【農林水産省リンク】

取組証明書：[詳細はこちら](#)

取得者一覧：[詳細はこちら](#)

【本件に関するお問い合わせ先】

フロンティア事業室 担当：岩淵 TEL019-623-1111（代表）